

# 安保関連法成立後の 政党政治

2025年1月5日 第10回学者の会オンラインシンポジウム

中野晃一（上智大学）

# 安保関連法（集団的自衛権＝同盟）とは

- 憲法9条を反故にして他国（米国）の戦争に参加すること
- 冷戦後の国連中心・国際協調主義的な「新秩序」形成を諦めた米国が、ネオコン主導の自国第一主義的な軍事（同盟）政策の再構築（イラク戦争など）に向かっていく中で日本に対して要求

## 2000年アーミテージ・ナイ報告書

「日本が集団的自衛権を禁じていることが同盟協力の妨げとなっている。この禁止を解くことで、より緊密でより効果的な安全保障協力が可能になる。（中略）私たちは、米英間の特別な関係を（日米）同盟のモデルと捉えている。」

エドウィン・ライシャワー *Foreign Affairs* (1967) 寄稿記事

「(左派政党・労働運動・知識人・学生運動) グループの多くは『帝国主義』の理由は『資本主義』にあり『帝国主義』が世界の緊張の原因というマルクス主義の考えを受け入れている(中略) そのような思考から必然的に我々(米国)との防衛関係を断ち、共産主義陣営との同盟まで行くか、少なくとも厳密に中立的な立ち位置を求めている。このように時代遅れな19世紀の世界問題の分析に日本人が留まる限り、有益な対話は不可能である。事実、共産党と(それに同調する)社会党との対話は今もない(中略) (マルクス主義を取らない野党の) 穏健派は相互理解を深めようとする我々の呼びかけに応じた」

「私たちは着実に、米国がすでに英国と共有するような気安く、十全なパートナーシップに向かうだろう」

# 冷戦前期：米国の直接介入と国内冷戦構造

- 1947-48年くらいから「逆コース」
- 下山事件（1949年）など米国の謀略が濃厚
- 中華人民共和国成立（1949年）、朝鮮戦争（1950-53年）、ベトナム戦争（1955-1975年）
- サンフランシスコ平和条約（単独講和）・日米安保条約（1951年）
- 自衛隊発足（1954年）
- 社会党再統一・自民党結党（1955年） = 「55年体制」の成立
- CIAによる自民党への資金援助（1958年から1972年頃までか）
- CIAからの資金援助を得た民社党結成（社会党分裂）（1960年）
- 1960年安保 → ライシャワー大使着任（1960-66年）

# 冷戦後期：経済大国化した日本への改革圧力

- 社共共闘 vs. 社公民路線のせめぎ合い（1960年代半ばから1970年代後半まで）
- 地方における革新自治体 → 国政における保革伯仲 → 自公民路線の模索
- 日米貿易摩擦（1970年代以降） → ジャパン・バッシング（1980年代後半から1990年代半ばまで）
- 冷戦の終焉（1989年-）と湾岸危機・戦争（1990-91年）
- 新自由主義転換（1980年代半ば以降） = 行財政改革と国際貢献論
- 非自民・非共産の細川内閣誕生 = 55年体制の崩壊
- 冷戦構造のなか政権交代できないけれど、米国の代理戦争に巻き込まれることは阻止した「戦後民主主義」は大きな転換期へ

# 改革の政治 = 英米型近代化・民主主義とは

- 米国の建国以来の「民主主義」の現実 = 白人至上主義を下地としたエリート多元主義
- 英国をモデルとした、シュンペーターの「もう一つの民主主義」論 = 資本主義と一体化したエリート多元主義
- 「近代化論」の非民主性と帝国主義・植民地主義の隠蔽
- 自由民主主義と言っても、新自由主義転換後は「強い個人（勝者）の自由」に偏るエリート多元主義がせいぜい
- 英国をモデルとした新自由主義的政治改革 = 小選挙区制の導入
- 小沢の「普通の国」論（国連中心主義）と保守二大政党制志向
- 憲法を拠り所とした戦後民主主義 = 立憲民主主義の形骸化の始まり

# 安保関連法後の政党政治はどこへ

- 英米型エリート多元主義という意味での「民主化」により**政権交代の可能性が増しても**、政党政治全体として対米従属を受け入れ、**米国の経済・安全保障政策への統合が進めば**、**実際には日本の自律的な民主主義は形骸化**はより深刻に
- 1990年代以降も、抵抗の砦は「**日本国憲法**」「**国会（特に参議院）**」「**市民社会の平和主義**」が中心
- 3つのシナリオ：①連立枠組みの拡大による**自民党支配**の継続②**保守二大ブロック制**への移行③**立憲野党共闘**体制の再構築
- 新冷戦はイデオロギー対立でさえない**寡頭支配国家間の覇権争い**
- **白人至上主義を下地にしたエリート多元主義**という米国型民主主義の地金がトランプ再選で露呈
- 日中接近は必然、**東アジアを戦場とした米国の代理戦争の回避を**